

3. 官庁訪問を知ろう！



第3部. 官庁訪問を知ろう！

第3部では、経験しなければなかなか掴めない官庁訪問の実態をお伝えします。環境省の官庁訪問の基本的な情報に加え、官庁訪問について内定者で話し合った座談会についてまとめています。

なお、掲載している情報はあくまで令和4年度官庁訪問における経験に基づき、内定者の視点から作成されたものであり、来年度以降の官庁訪問のシステムや内容と異なる可能性があります。

□ 官庁訪問の基本情報

令和4年度は、環境省ではすべて対面での実施となりました。国家公務員一般職試験の第1次試験合格者発表後、7月上旬以降に実施されました(ただし、第2次試験期間中は除く)。環境省では3日間の日程のうち、最初の2日間で1回目の訪問を行い、3日目に2回目の訪問が行われました。なお、8月以降の官庁訪問は実施されませんでした。

最新の詳しいルールは人事院Webサイトでしっかり確認しましょう。

以下、官庁訪問の流れ、面接、服装、基本データについてまとめます。

□ 官庁訪問の流れ

①官庁訪問予約

環境省Webサイトから官庁訪問申込票等をダウンロード、記入し、提出期限までにメールで送ります。これで官庁訪問の予約が完了します。

②官庁訪問当日

指定された日時・会場に集合。昼休みを挟み、1日かけて数回の面接を行います。選考を通過すると次の日程に進むことができます。

③一般職試験第2次試験合格者発表後

最終合格者への内々定が解禁されます。

□ 官庁訪問（一般職）の面接

・面接は、人によって異なりますが、複数回行われます。面接では官庁訪問申込票を基に質問をされたり、自己PRを求められたりします。加えて、説明会では聞けないような具体的な業務内容を聞いたり、政策について議論したりすることによって、しっかりと環境省の業務内容を理解することができます。

・時間は1回30分程度です。毎回、終了後から次の面接に呼ばれるまで時間がかかりますので、その間に面接の振り返りをしたり、ノートや申込票を見返したりして、次の面接に備えましょう。

・官庁訪問終了時刻は官庁によって異なりますが、一般職内定者の中では18時頃に終了したという声が多かったです。

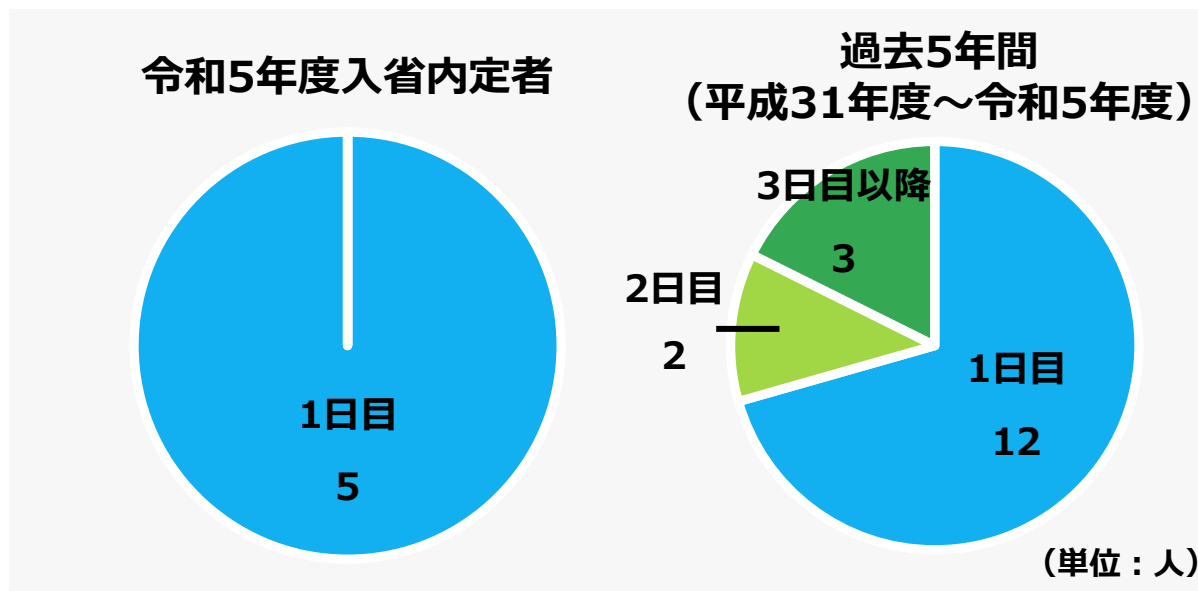
□ 官庁訪問（一般職）の服装

・官庁訪問はクールビズ期間中に実施されることが多く、軽装が推奨されています。そのため、志望者も半袖シャツを着たり、ネクタイを外したりした状態で面接を受けることが可能です。

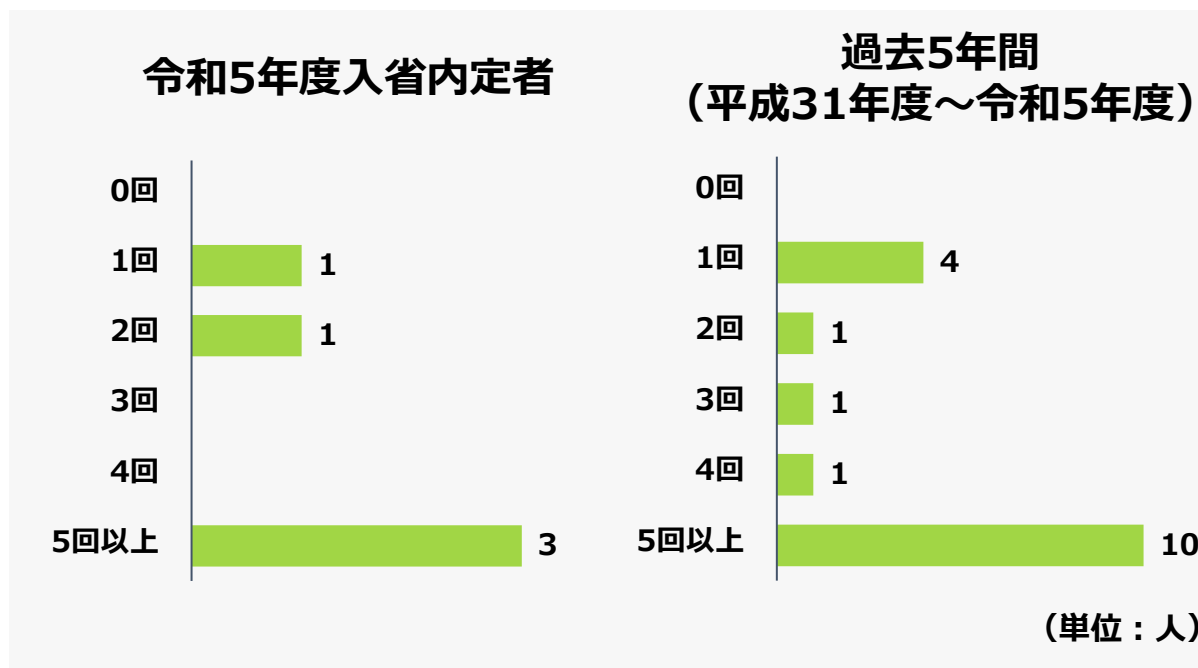


□ 官庁訪問（一般職）基本データ

□ 官庁訪問の初回訪問日

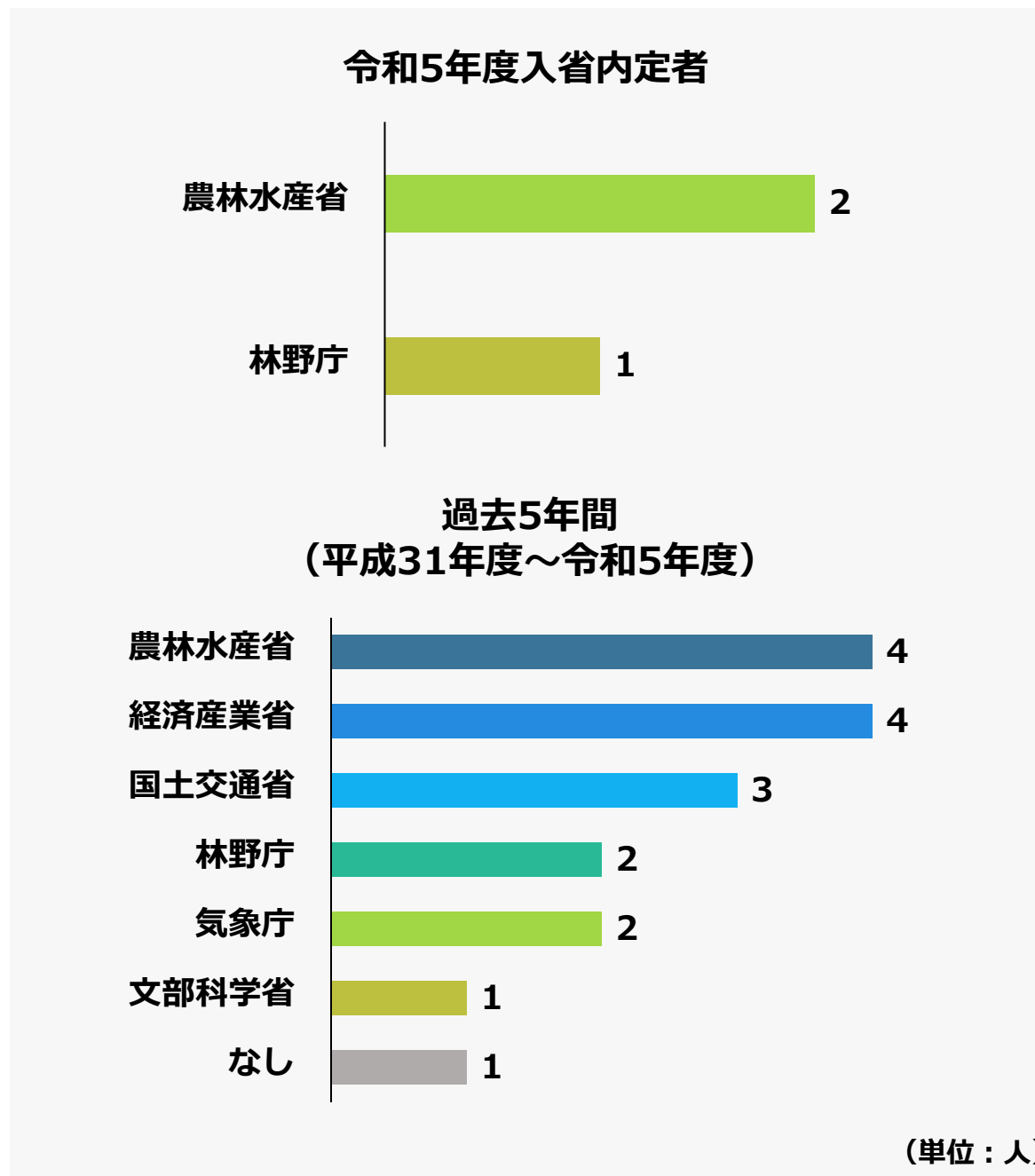


□ 説明会などの参加回数



□ 官庁訪問（一般職）基本データ

□ 併願した官庁



□ 主な併願進路

国総研、国土地理院、自衛隊幹部候補生、化学素材メーカー など

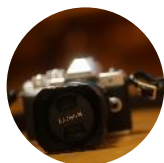
□ 官庁訪問参加者による座談会

令和5年度入省予定の内定者5名で座談会を実施し、官庁訪問を振り返りました。発言の内容を要約し、編集を加えているため会話の流れが不自然な点があるかもしれませんが、予めご了承ください。また、座談会形式のためフランクな文体となっておりますがご容赦ください。

座談会メンバー



アマゴ
千葉県在住。併願先：国総研



れおな
大阪府在住。併願先：防衛省



れて
神奈川県在住。併願先：農林水産省



ぐったりパンダ
東京都在住。併願先：農林水産省



ほたる
司会。北海道在住。併願先：林野庁





緑色の吹き出しは司会の質問です



ほたる

官庁訪問に参加したのは、一般職だけでしたか？



れおな

私は総合職も受けました。でもだめだったので一般職を受けた感じです



ぐったりパンダ

私も似たような感じです。去年一般職を受けて、今年総合職・一般職と受けて、三度目の正直でした



れて

私は今年総合職を受けてだめだったので、一般職も受けました



アマゴ

僕は一般職オンリーでした



ほたる

私も一般職だけです。総合職は試験に受からなかったので…



ほたる

1日に面接は何回ありましたか？



れおな

8回でした。最初と最後に採用担当の人との面接があるから、人数で言うと7人ですね



ほたる

合計6人の人と面接したので、面接の回数は7回でした



ぐったりパンダ

私も6人です



れて

私も回数だと7回で、人数は6人



ほたる

面接の時は、手元に何を用意していましたか？



ぐったりパンダ

ノートとペン。

総合職の時は周りがみんな手ぶらで、自分もそうしていましたが、業務説明をされても頭に入ってこなくて質問されても上手く返せなくて。それで一般職の時は「メモ取っていいですか」と聞いてしっかりメモを取りました



ほたる

私は手ぶらタイプでした。カバンの中に入れはしたけど結局取り出せませんでした。面接中ではなく待ち時間の時に、面接中に聞かれたことや話したことを整理するために使いました



れおな

私も持って行こうと思いましたが、話を聞きながら文字を書くのが苦手なので、頑張って内容を頭の中に入れようと思って持っていきませんでした。最後に1日のまとめを聞かれるのはわかってたので、面接の待ち時間中に、面接の内容をまとめるためにノートを取っていました



れて

ポケットにシャーペンを挿してノートを持って行きました。内定者の声などを読んで、内容をまとめるノートが必要なのを知ってたので、高校時代の使いかけのノートを持って行きました (笑)

私の周りは筆記用具を持って行っている人が多かったので、自分も持って行って、話を聞きながらものすごい走り書きでメモを取ってました



アマゴ

僕は筆記用具はバッグの中に入れっぱなしで、ほたると同じパターンでした。あとはパンフレットを持って行って、それはけっこう使いました。見せると面接官の方がそれを使っているのを見ると説明してくれました



ほたる

面接をしていて大変だと思うことはありましたか？



れて

長丁場なので、待ち時間中の待合室の空気が重くなっていくのがつらかったです。自分も疲れるし…



ほたる

私は逆質問を考えるのが大変でした。自分が今までの面接の中で聞かれたことについて、「私はこう思っているんですけど、どう思いますか？」って質問の仕方ですり切りました



れおな

地方と東京両方の面接を受けていたので、日程を考えるのが大変でしたね。午前中に面接してすぐに新幹線乗ってまた面接して、次の日に帰らなきゃ…となかなかあわただしかったです



ほとる

官庁訪問中、どんな質問がありましたか？ 印象に残っている質問はありますか？



れおな

「再生可能エネルギーを普及させるためにはどうしたらいいと思う？ 政策言ってみて」とか言われたのはびっくりしました。しかも一番最初の面接官に言われて「どんなこと話せばいいんだ!？」と焦りましたが、それのおかげで後半はなんとかまりました



ぐったりパンダ

趣味の欄に「韓国語」って書いていたのですが、「なんで勉強し始めたの？」みたいな質問は多かったですね



れて

私は、趣味の欄に「卓球と風呂敷」って書いてたんです。趣味としてオーソドックスなのは卓球じゃないですか。自分としても力を入れていたこととして話せる部分もあるし、そっちに触れてほしかったんですけど、めちゃめちゃ風呂敷について触れられて…



ほとる

いや、それは聞かざるを得ない(笑)



れて

バイトしてるお店に風呂敷に包んで提供するものがあるんですけど、お店で1番綺麗にできるんですよ！みたいな話をしたのを覚えてます



ぐったりパンダ

業務説明してもらって、「何に興味ありますか？」って聞かれて、答えたものについて話してくれるみたいなのもありました。それと、政策についてのディスカッション。知識を問われてるわけじゃないし、正しくなくていいんだろうけど、怖かったですね…



アマゴ

僕は的外れなこと言いたくなかったので、話すときはとても気を付けて、自分の卒論とか自分の専門についてしか話しませんでした。おかげで割と楽でした。自分のフィールドでいろいろ話すと、緊張するけど楽しかったですね。今まで議論する相手は研究室の先生とか、同じものを専門にしている人ばかりだったので、そうじゃない人と話せてよかったです



ほとる

面接の中で、自分が評価されたところはどこだと思いますか？



れおな

趣味の話で盛り上がったことですかね。あとは、面接中に学んだことを最後に話して、「学んでくれたか！」って言ってもらえたことかも



ぐったりパンダ

1日の間に目覚ましい成長を遂げたからだと思います。
うまく答えられなかった質問について、面接していく中でいろんな人に聞いて、B5のノート1枚分くらいに考えをまとめて話したら、すごく感動してもらえて。それだろうなと思っています



れて

総合職の面接の時、やりたいこととか、なぜ環境省なのかとか最初はうまく言えなかったのですが、面接をしていくうちにだんだん掴んでいったんですね。それでも落ちてしまって、一般職の面接に行ったら、面接官がその時と同じ方で。「その志望動機でそのまま行っておいで」みたいに言ってもらったのは嬉しかったです



アマゴ

僕は、割と何も包み隠さず行ったのがよかったのかなと思います。言ってることの一貫性はずっと保つように意識していました。
面接で、パンフレットからはわからないことを生の声で聞けて、しっかり定着したことを話せたのもよかったかもしれません



ほとる

1日を通して自分の考えが変わるとか、何かを学んで知識を増やしたとか、そのあたりの成長を見られていそうだな、というのは私も強く感じました。
面接官の方も、感心していそうな反応というか、手ごたえを感じさせてくれたのも嬉しかったです



ほとる

座談会は以上です！ 志望者の皆さんの参考になれば幸いです！

おわりに

ここまで読んでいただきありがとうございます。いかがでしたでしょうか。

本書は構成から内容まで、すべて内定者が主体となって作成しております。その分、ひとりひとりのプロフィールや生の声に焦点を当て、就活生にとって身近な就活本になるよう努めました。私たちがどのように試験対策に取り組み、試行錯誤し、どのような考えをもって環境省を目指したのか、皆さんが環境省を将来の選択肢として考える際に少しでも役立てていただけたらと思っております。

この「内定者の声」は、次に環境省を目指す皆さんへ我々内定者からのバトンです。私たちとともに、環境問題の最前線に立って日本、そして世界の未来を作っていきますか？内定者一同、皆さんをお待ちしています！

2022年12月 環境省一般職理工系内定者一同

